

株式会社資生堂 2012年度 **上期実績および
通期見通し**

2012-10-31

株式会社資生堂
代表取締役社長
末川 久幸

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

1

2012年度 上期実績 要約

(億円)	実績	前年比	外貨前年比	前年差	7月発表差
売上高	3,336	Δ0.8%	+1.2%	Δ25	Δ34
国内	1,866	Δ3.2%	Δ3.2%	Δ63	Δ34
海外	1,470	+2.6%	+7.1%	+37	+0
営業利益	83	Δ61.2%	Δ58.5%	Δ132	Δ32
経常利益	84	Δ61.7%	—	Δ135	Δ31
純利益	50	Δ44.8%	—	Δ41	+0

- 海外売上比率 44.1% (+1.5pp)
- 営業利益率 2.5% (Δ3.9pp)
- 為替レート ドル=79.8円(Δ3%)、ユーロ=103.5円(Δ10%)、中国元=12.6円(+1%)

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

2

売上高 報告セグメント別

SHISEIDO

(億円)	12/9期		11/9期		前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比		
国内化粧品	1,734	52.0%	1,805	53.7%	Δ3.9%	Δ3.9%
グローバル	1,557	46.7%	1,516	45.1%	+2.7%	+7.0%
その他	45	1.3%	41	1.2%	+10.8%	+10.8%
合計	3,336	100%	3,362	100%	Δ0.8%	+1.2%

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

3

売上高 報告セグメント別 国内化粧品

SHISEIDO

(億円)	12/9期		11/9期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
カウンセリング	867	26.0%	897	26.7%	Δ30	Δ3.3%
セルフ	408	12.2%	417	12.4%	Δ9	Δ2.2%
トイレットリー	205	6.2%	246	7.3%	Δ41	Δ16.6%
化粧品	1,480	44.4%	1,560	46.4%	Δ80	Δ5.1%
ヘルスケア	78	2.3%	76	2.3%	+1	+1.5%
その他	176	5.3%	169	5.0%	+7	+4.3%
国内化粧品	1,734	52.0%	1,805	53.7%	Δ71	Δ3.9%

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

4

売上高 報告セグメント別 グローバル

SHISEIDO

(億円)	12/9期		11/9期		前年差	前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比			
化粧品	1,356	40.7%	1,312	39.0%	+44	+3.3%	+7.8%
プロフェッショナル	201	6.0%	204	6.1%	△2	△1.1%	+2.3%
グローバル	1,557	46.7%	1,516	45.1%	+41	+2.7%	+7.0%

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

5

売上高 地域別

SHISEIDO

(億円)	12/9期		11/9期		前年差	前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比			
日本	1,866	55.9%	1,929	57.4%	△63	△3.2%	△3.2%
米州	439	13.2%	433	12.9%	+5	+1.2%	+4.9%
欧州	368	11.0%	406	12.1%	△37	△9.2%	△0.0%
アジア・オセアニア	663	19.9%	594	17.6%	+69	+11.7%	+13.6%
海外計	1,470	44.1%	1,433	42.6%	+37	+2.6%	+7.1%
合計	3,336	100%	3,362	100%	△25	△0.8%	+1.2%

In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved.
No reproduction without permission.

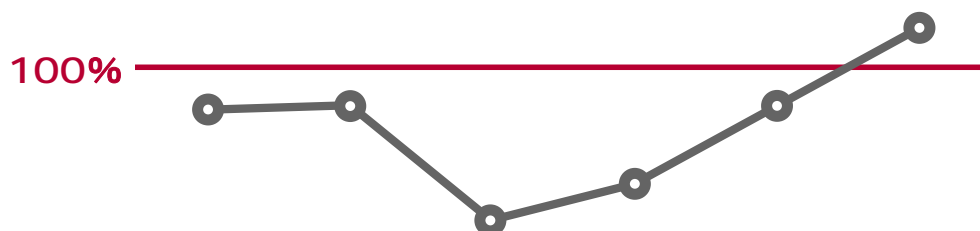
6

(億円)	見通し	前年比	外貨前年比	7月発表差		
				上期	下期	年間
売上高	7,000	+2.6%	+4%	△34	△66	△100
国内	3,820	+0.5%	+1%	△34	△6	△40
海外	3,180	+5.2%	+7%	+0	△60	△60
営業利益	400	+2.2%	—	△32	△3	△35
経常利益	400	+1.4%	—	△31	△4	△35
当期純利益	220	+51.6%	—	+0	△0	±0

- 海外売上比率 45.4% (+1.1pp)
- 営業利益率 5.7% (△0.0pp)
- 為替レート ドル=80円、ユーロ=100円、中国元=12.5円
- 配当 中間25円、期末25円(予定)

国内化粧品 店頭売上の回復・・・2012年度上期 店頭売上前年比 月別推移 SHISEIDO

店頭売上は、回復基調に向かいつつある



4月	5月	6月	7月	8月	9月
1Q (△2%前後)			2Q (△1%前後)		

	好調な領域 回復基調にある領域	注力する領域
チャンネル	デパート ドラッグストア	専門店
商品	スキンケア	ファンデーション
お客さま	—	シニア対応

基本活動の徹底の継続推進



「美容機器を活用した肌診断」・「肌に触れる活動」などの基本活動を丁寧に続けてきたことで
ロイヤルユーザーの定期的なご来店につながっている

「中低価格帯×スキンケア領域」



エリクシール デーケアレボリューション

「低価格帯×スキンケア領域」



アクアレーベル
スペシャルジェルクリーム

専科

引き続き
一桁後半の
成長

売場強化・・・定番売場の充実



選びやすく、情報性の高い仕器・トレイを導入

商品強化・・・画期的な新製品の投入

主力のマキアージュ・インテグレートに
新たな技術革新による画期的な新製品を投入

店頭対応強化・・・新たな美容テクニック

<ミルフィーユ ファンデ テクとは？>

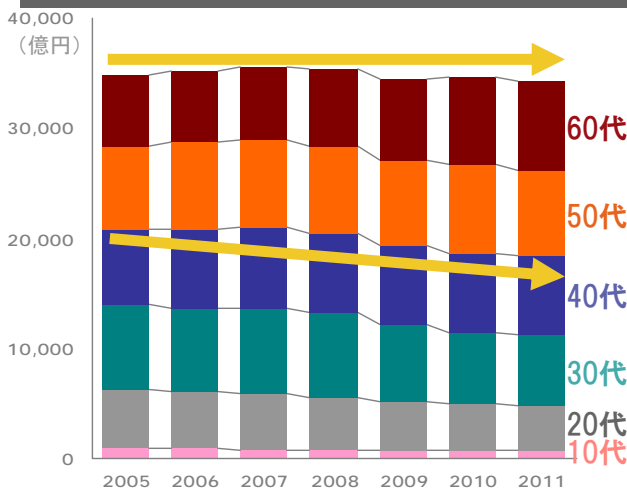


化粧下地とファンデーションの間に、フェースパウダー「リニュー シルクヴェール パウダー」をプラスする、新しいベースメイカップのテクニックです。



ベネフィーク「ミルフィーユ ファンデ テク」

拡大するシニアの国内化粧品市場



インサイトを分析し、手立てを構築

シニアに向けたトータル提案

- 売場の強化
- 紹介活動の強化
- 情報発信の強化

下期

中期的
対応

新たな知見と
技術・ソフト開発
による商品の導入



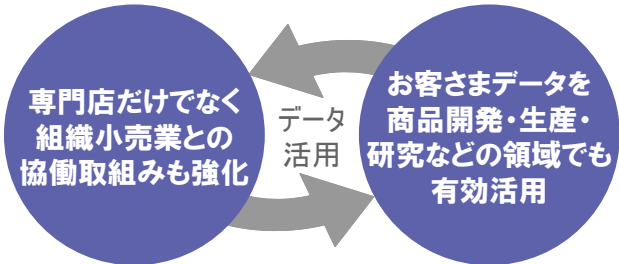
約120万人～新たなお客さまとの出会い



watashi+
化粧品デー

成果

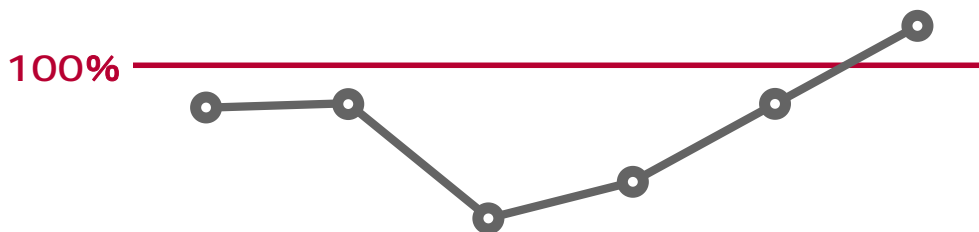
「watashi+」
付加サービス店では、
店頭売上が前年に対し
10%を大きく上回る



新しいマーケティングの開発と売上拡大につなげる

課題へ集中的に対応し、さらなる成果に結びつける

店頭売上の回復基調に拍車をかける



4月	5月	6月	7月	8月	9月
1Q (Δ2%前後)			2Q (Δ1%前後)		

中国 下期以降の「取り組み」①

反日デモ等による影響	
発生当初	現在
<ul style="list-style-type: none"> 人的被害ゼロ・設備被害ゼロ 北京・上海の工場の操業停止なし デパートは、百数十店の売場が休業 専門店は、1,000店を超えるお店が日本製品の販売を中止 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ全店営業を再開 ※日本製品は影響あり その1/4程度まで減少
<p>「お客さまの日本製品に対する購買意識の動向」は不透明であり、予断を許さない状況</p>	

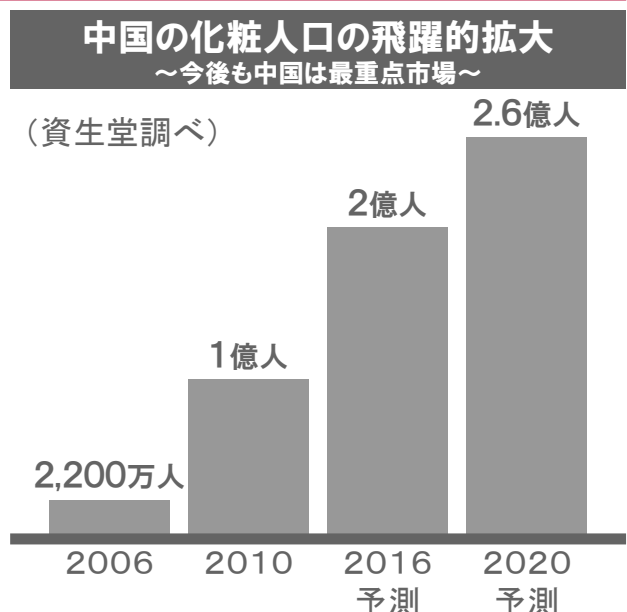
中国 下期以降の「取り組み」②

中国の成長見通し

下期は
一桁半ばの
成長

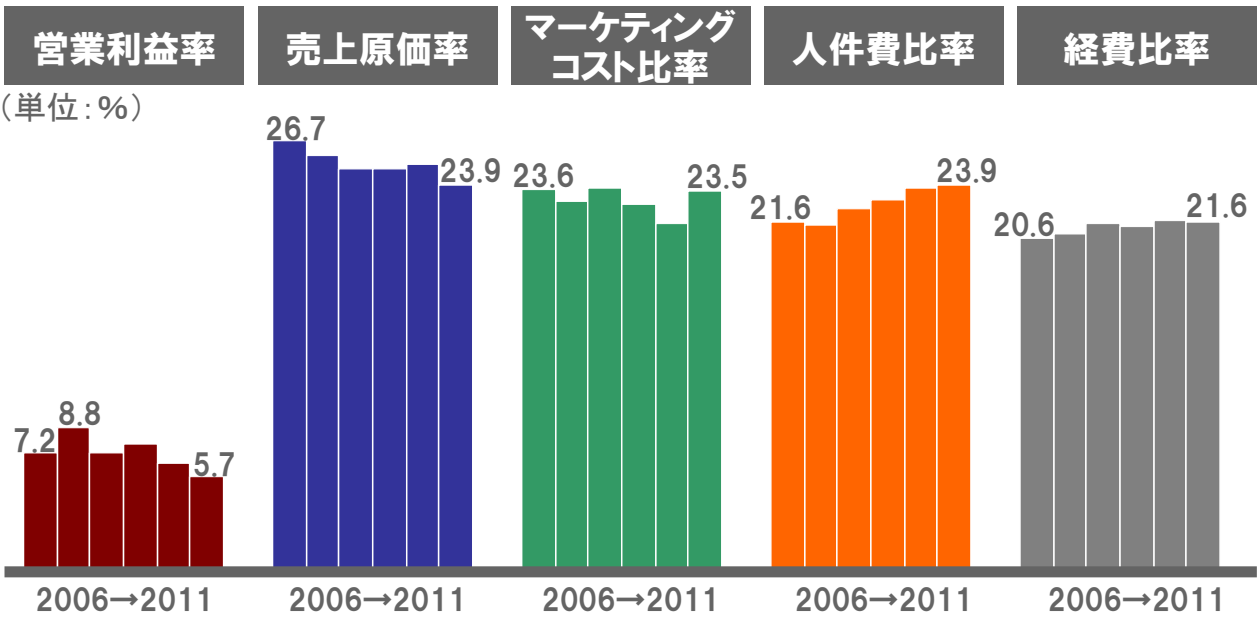
→

年間では
10%程度の
成長



営業利益率・売上原価率・販売管理費率の推移

SHISEIDO

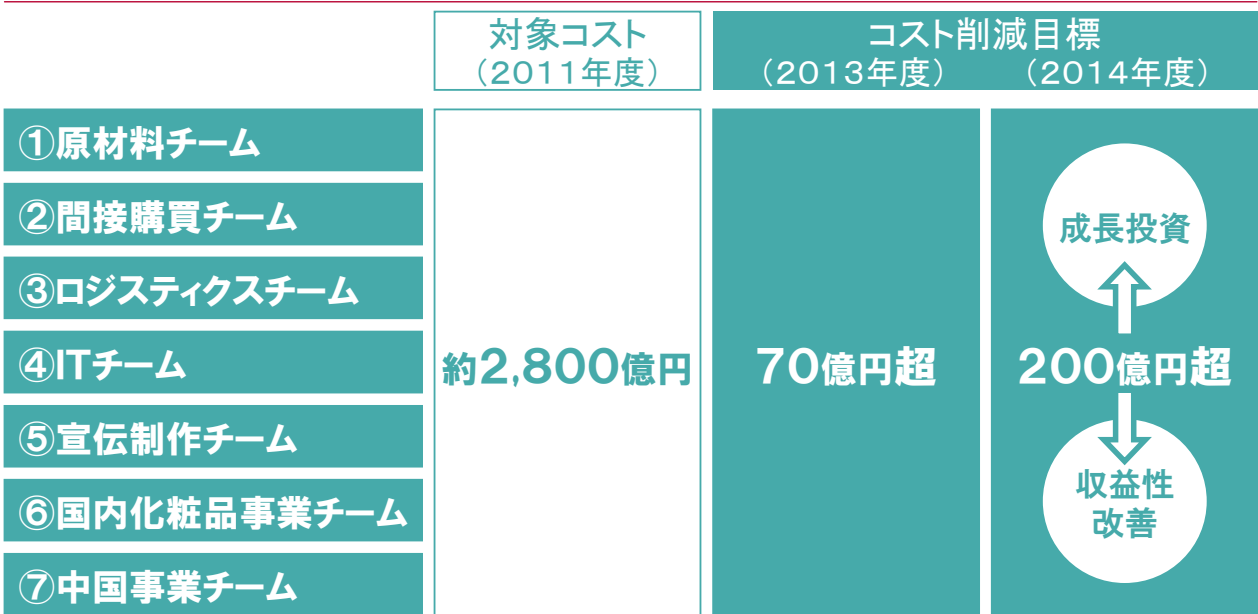


In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved. No reproduction without permission.

コスト構造改革・コスト削減の目標

SHISEIDO



In Diversity, Strength In Challenge, Growth In Heritage, Excellence

Copyright©2012 Shiseido Co., Ltd. All Rights Reserved. No reproduction without permission.

組織、インフラ、業務を含め、筋肉質な事業構造に生まれ変わる

グローバル規模の機能統合	人件費マネジメントの強化	生産拠点の再編
<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル規模の「バックオフィス機能の統合」・「物流・インフラの整備・統合」 ● 米国での構造改革を、他のエリアでも実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規・中途採用の抑制 ● 信賞必罰の徹底 ● 業務見直しによる残業代抑制 ● 本社スリム化と現場の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベトナム工場の積極活用 ● 国内外の最適な生産体制の構築

具体的な内容は、来年1月以降、順次ご案内予定

環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ● 欧州の金融危機 ● 中国における事業環境の変化
-------	--

● 「先行投資」を前提に、「平均売上成長率 6%」という高い成長性をめざすのではなく、「堅実なマーケティング投資による、市場と同程度の着実な売上成長」と「高収益構造の基盤構築」に全社を挙げて取り組む

● 現在進めている「コスト構造改革」と「事業構造改革」のスピードを上げ、「営業利益率 8%」を達成する

一瞬も一生も美しく



【補足データ】

(億円)	12/9期	11/9期	増減	増減率	13/3期 見込み	12/3期	増減	増減率
設備投資等(注)	133	152	△20	△13%	311	343	△32	△9%
有形固定資産	83	104	△21	△20%	193	216	△23	△11%
無形固定資産他	50	48	+2	+3%	118	127	△9	△7%
減価償却費	159	151	+8	+5%	327	307	+20	+7%
有形固定資産	86	85	+1	+1%	181	174	+7	+4%
無形固定資産他	73	66	+7	+10%	145	132	+13	+10%
研究開発費	69	70	△1	△2%	141	147	△6	△4%
広告費	249	210	+38	+18%	477	493	△16	△3%

(注)資本的支出、有形固定資産、無形固定資産(のれんを除く)及び長期前払費用への投資

2012年度 通期見通しの営業利益増減要因 (2Q後)

